

平成31年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート

平成30年10月31日現在



部門	所管部	施策区分	事業名	ページ	備考		
森林部門	林政部	100年先の森林づくりの推進	環境保全林整備事業	1			
			100年先の森林づくり普及推進事業	2			
			公有林化支援・推進事業	3			
			里山林整備事業	4			
			観光景観林整備事業	5			
		ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり 人づくり・仕組みづくり	木質バイオマス利用施設導入促進事業	6			
			木の香る快適な公共施設等整備事業	7			
			ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	8			
			県民協働による未利用材の搬出促進事業	9			
			ぎふ木育拠点整備等事業	10			
			ぎふの木育教材導入支援事業	11			
			森と木と水の環境教育推進事業	12			
	林政部 環境生活部	地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進	清流の国ぎふ地域活動支援事業	13			
			清流の国ぎふ市町村提案事業	14			
環境部門	環境生活部	自然生態系の保全と再生	野生動物総合対策普及推進事業	15			
			上流域と下流域の交流事業	16			
			生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業	17			
	農政部		野生鳥獣保護管理推進事業 (ニホンジカ、イノシシの捕獲推進)	18			
			野生鳥獣保護管理推進事業 (カワウ等対策)	19			
			野生鳥獣保護管理推進事業 (捕獲の担い手確保)	20			
			生きものにぎわうため池再生事業	21			
			水田魚道設置推進事業	22			
			生態系保全団体支援事業	23			
			生態系保全市町村支援事業	24			
			用排水路・河川落差解消支援事業	25			
			農政部	ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり	小水力発電による環境保全推進事業	26	
			県土整備部 農政部	自然生態系の保全と再生	流域協働による効率的な河川清掃事業	27	
					河川魚道の機能回復事業	28-29	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	森林整備課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	環境保全林整備事業
② 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の林業経営では採算の合わない飲用水や農業用水等の水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林の整備・保全を推進するため、間伐等を支援し、環境を重視した森林づくりを進める。 ・水源地域周辺や急傾斜地等における森林環境の改善により、森林の公益的機能の維持増進が図られる。
③ 事業主体	市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等
④ 事業概要	市町村森林整備計画で環境保全林に区分された水源林、溪畔林等において間伐を実施。

第2期 事業の進捗								
進捗	事業量	計画 (ha)	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		実績 (ha)	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	13,000
		進捗率 (%)	1,725	1,954				3,679
	事業費 (千円)		66.3	75.2	0.0	0.0	0.0	28.3
		森林・環境税	350,195	384,601	280,000			1,014,796
他(国庫補助金)		236,349	293,350	280,000			809,699	
		113,846	91,251				205,097	
後現 の状 予と 定今	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨及び台風21号により多くの林道災害、風倒木が発生した中、75%の実績見込みとなった。 ・年度毎の事業で年度の切り替え時に空白期間が生じていたため、年度繰越ができるよう運用を変更する。 							

31年度の事業計画			
環境保全林において、2,600haの間伐を実施する。			
事業内容	 <p style="text-align: center;">間伐実施前</p>	 <p style="text-align: center;">間伐実施後</p>	<p>市町村や森林組合、森林整備事業体などが実施する間伐に対し補助金を交付。</p> <p>補助率 10/10 (上限 県の定める標準事業費)</p> <p>平成25年度実施箇所の事業実施5年後のモニタリング調査結果から、間伐を実施した箇所では、形状比(樹高÷胸高直径)が改善された(22箇所中17箇所改善)ほか、下層植生被覆率(地表から高さ50cm以下の植物が地面を覆っている割合)も増加しており(22箇所中18箇所増加)、森林環境が改善している。</p>
	事業計画	事業量	計画 (A)
		2,600ha	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	280,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体に対し、更なる事業地の掘り起しを依頼する。 		

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	林政課
-----	-----------	-----	-----

① 事業名	100年先の森林づくり普及推進事業
② 事業目的	人工林に広葉樹を導入(針広混交林化)する場合や、人工林を観光に資する場合等については、施業方法が確立されていないため、試験的に施業を実施し、その後の経緯・効果等を検証することにより、望ましい森林に誘導するための施業方法を確立する。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	環境保全林等において、間伐方法等の異なる試験区を設定し、それぞれの効果を継続的に検証する。

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計画 (ha)		2.42	0.48	-			2.90
		実績 (ha)		2.42	0.48	-			2.90
		進捗率 (%)		100.0	100.0	-			100.0
事業費 (千円)			3,043	2,249	0			5,292	

後現
の状
予と
定今

- ・平成29年度に伐採作業の終了した揖斐川町坂内の調査区で植生調査を実施し、高木性広葉樹等の当年生実生を確認した。今後消長等の調査継続的に実施する。
- ・平成30年度中に他の4試験地において、調査区を設定する。伐採作業終了後に更新調査を実施する。

31年度の事業計画

各試験区ごとに、侵入した高木性広葉樹の消長等を調査する。

下記の試験区において、侵入した高木性広葉樹の消長等を調査する。

箇所	揖斐川町坂内広瀬 深谷5222-1,5225-1	本巣市根尾大井 西ノ谷1171-1	八百津町八百津 隠玄田2434-1	中津川市高山 日比渡瀬2145-60	高山市丹生川町 町方コウノス3626
林班	81-イ-22 外1	94-イ-2-3	32-へ-1-3	2-イ-2-2 外2	273-イ-54-2 外2
実施内容 (間伐)	定性間伐 列状間伐 群状間伐	定性間伐 列状間伐	定性間伐 列状間伐	定性間伐 列状間伐 群状間伐	定性間伐 列状間伐
実施内容 (その他)	シカ防護柵(120m) 作業歩道(300m)	シカ防護柵(130m) 植栽(コナラ100本)	シカ防護柵(150m)	シカ防護柵(180m) 植栽(コナラ100本)	シカ防護柵(110m) 植栽(コナラ100本)
調査内容	植生調査(6プロット)	植生調査(8プロット)	植生調査(8プロット)	植生調査(12プロット)	植生調査(8プロット)
面積	0.24 ha	0.10 ha	0.14 ha	0.12 ha	0.12 ha

事業計画	事業量 ()	計 画	計画値設定の考え方
		- ha	
	事業費	- 千円	

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31
-----	-----------

担当課	治山課
-----	-----

① 事業名	水源林公有林化支援・推進事業
② 事業目的	水源林の公有林化による適正な森林管理の促進
③ 事業主体	市町村・県
④ 事業概要	市町村の森林取得に対する助成など

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期計
		計画 (ha)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	実績 (ha)	17.77	26.94				44.71
	進捗率 (%)	88.9	134.7	0.0	0.0	0.0	44.7
	事業費 (千円)	6,978	12,000	20,000			38,978

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に向け市町村への指導を実施する。

31年度の事業計画

セーフティネットとして20haの森林取得を見込み計画

事業内容	1 市町村による水源林の公有林化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体: 市町村 ・補助率 : 10/10以内 ・要件 : 以下の①～④全てを満たす森林。 <ul style="list-style-type: none"> ①岐阜県水源地域保全条例(平成25年度岐阜県条例第24号)第13条第1項の規定により水源地域に指定された森林、又は指定される予定の森林。 ②保安林に指定されることが確実であること、又は市町村の条例により公の施設として位置づけられること等将来にわたって森林の状態が担保されること。 ③取得面積が1ha以上の森林であること。 ④市町村森林整備計画において、公益的機能別施業森林として位置づけられていること。
	2 県による公有林化 将来にわたり保全・管理する必要のある水源林について、県が公有林化し適正に管理する。

事業計画	事業量 (森林取得面積)	計画 20ha	計画値設定の考え方 早急に公有林化が必要な場合に備えて計画
	事業費	20,000千円	公有林化に必要な森林取得費支援の要望に対応する

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日 H30.10.31

担当課 恵みの森づくり推進課

① 事業名	里山林整備事業、森林地域外危険木除去事業
② 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、里山林の整備に要する経費を助成する。 ・住宅街・集落、農地周辺や生活道路沿線の森林整備等が行われることにより、里山林の快適環境形成機能や保健文化機能の維持増進が図られる。
③ 事業主体	市町村、森林組合、林業事業体、特定非営利活動法人等
④ 事業概要	集落・農地等周辺の里山林整備の支援


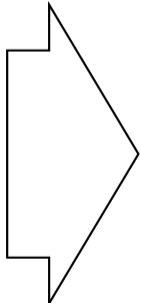

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画 (ha)	650	650	650	650	650
	実績 (ha)	317.91	370.25				688
	進捗率 (%)	48.9	57.0	0.0	0.0	0.0	21.2
	事業費 (千円)	221,841	336,622	200,000			758,463

後現の状と予定今
 ・危険木除去の申請件数は17件(H26)、38件(H27)、53件(H28)、101件(H29)、121件(H30見込み)であり、県民の里山林整備事業における危険木除去の要望が増加傾向にある。
 ・補正予算等も活用して、できる限り事業の要望に対応する。

31年度の事業計画

650haの里山林の整備を行う。また、10カ所の森林地域外の危険木の除去を行う。

事業内容				市町村や森林組合等が実施する里山林整備に対し補助金を交付 補助率: 10/10以内 補助上限: メニューごとに設定 ・侵入竹の除去 ・森林病虫害の防除 ③ 不用木の除去 ④ 危険木の除去 ⑤ バッファゾーン整備 など
	整備前		整備後	

事業計画	事業量 (森林整備面積)	計画 650ha	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	200,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点
 ・危険木の除去における事業費の圧縮のため、歩掛等の設定により、事業内容の精査を検討する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	恵みの森づくり推進課
-----	-----------	-----	------------

① 事業名	観光景観林整備事業
② 事業目的	観光道路等から眺望ができ、景観として価値が高く、観光客を呼び込み地域活性化等に資することができる森林について、観光景観林として公的関与の高い管理・整備を推進することによって、各地域で優れた森林景観の形成を図るための公益的機能の維持・向上・回復を図る。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	100年の森林づくり計画において、観光景観林としてゾーニング又はゾーニングされる森林の整備

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画 (ha)	70	70	70	70	70	70
実績 (ha)	97	203					300	
進捗率 (%)	138.8	290.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.8	
事業費 (千円)	22,417	50,000	50,000				122,417	

後現
の状
予と
定今

- ・実施市町村数が前年度の4市町から9市町村に増加したことにより、計画値に対し大きく上回る実績となる見込みである。
- ・今後も事業費の適正な執行に向け市町村へ指導を実施する。

31年度の事業計画

70haの観光景観林の森林整備を行う

事業内容

市町村が実施する観光景観林の森林整備を支援する。
補助率: 10/10以内
補助上限: メニューごとに設定

- ① 不用木の除去
- ② 不用木の除去(伐採木の処理を含む)
- ③ 景観形成のための植栽
- ④ 伐採木等の搬出

総合整備
⑤ 関連条件整備
⑥ 計画策定
⑦ 附帯施設整備(1/2以内)
(上限10,000千円)

事業計画	事業量 (森林整備面積)	計画 70ha	計画値設定の考え方 第3期岐阜県森林づくり基本計画
	事業費	50,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	県産材流通課
-----	-----------	-----	--------

① 事業名	木質バイオマス利用施設導入促進事業
② 事業目的	地域の木質バイオマスの利用を促進し、環境にやさしい循環型社会を構築する。
③ 事業主体	市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人、民間事業者等。
④ 事業概要	公共施設等へ木質ペレットやチップ、薪を利用するボイラーやストーブの導入を促進

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計 画		ストーブ 20台 ボイラー 1施設	ストーブ 20台 ボイラー 1施設	ストーブ 20台 ボイラー 1施設	ストーブ 20台 ボイラー 1施設	ストーブ 20台 ボイラー 1施設	ストーブ 100台 ボイラー 5施設
		実 績		ストーブ 58台 ボイラー 0施設	ストーブ 28台 ボイラー 1施設				ストーブ 78台 ボイラー 1施設
		進捗率 (%)		290% 0%	140% 100%				78% 20%
事業費 (千円)			20,024	36,092	35,000			91,116	

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に向け指導を行うとともに、事業の情報提供等PRに努めていく。

31年度の事業計画

20基の木質ペレットストーブ・薪ストーブ、1基の木質資源利用ボイラーの導入を支援する。

事業内容

- ・保育園や学校、福祉施設等の公共施設に加え、多くの県民の利用が十分見込まれる商業・観光・レジャー施設への木質ペレットストーブ・薪ストーブ、木質資源ボイラーの導入を支援する。
- ・木質資源ボイラーについては、熱供給のみをするタイプのものに加え、熱電併給(CHP)タイプの設備導入も支援し、地域のバイオマス資源の有効活用を図る。
- ・補助率1/2以内 ただし補助上限額は、ストーブ…500千円/台、ボイラー25,000千円/台。

事業計画

事業計画	事業量 (導入台数)	計 画	計画値設定の考え方
		ストーブ20基 ボイラー1基	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	35,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31
-----	-----------

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	木の香る快適な公共施設等整備事業
② 事業目的	教育福祉関連施設等の木造化や内装木質化を促進
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化の助成

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(施設)	9	9	9	9	9
	実績(施設)	7	8				
	進捗率(%)	77.8	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業費(千円)	53,421	106,480	105,050			264,951

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に向け事業主体へ指導を実施する。

31年度の事業計画

公共施設の木造化・内装木質化等に対して支援をする

事業内容	1 事業内容		
	①教育福祉関連施設の木造化 ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人 等 ・補助率:17,000円/m ² 以内(上限30,000千円) ②教育福祉関連施設の内装木質化 ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人 等 ・補助率:10,000円/m ² 以内(上限30,000千円) ③伝統建築物の改修(県指定の重要文化財等) ・補助先:市町村等 ・補助率:事業費の2/3以内(上限50,000千円) ただし、文化財所有者が行う事業に要する経費の1/2以内 2 H31年度事業計画 ・7施設(木造化5施設、内装木質化2施設)		

事業計画	事業量 (整備施設数)	計画 9施設	計画値設定の考え方 要望を鑑み設定
	事業費	105,050千円	要望を鑑み設定

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31
-----	-----------

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業
② 事業目的	教育関連施設等における木製の机、椅子等の導入を支援
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	学校等の机・椅子等の導入の助成

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(個)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績(個)	1,375	1,774				3,149
	進捗率(%)	114.6	147.8	0.0	0.0	0.0	52.5
	事業費(千円)	11,793	25,990	26,000			63,783

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に向け事業主体へ指導を実施する。

31年度の事業計画

教育福祉関連施設等の机や椅子の導入に対して支援をする

事業内容	1 事業内容		
	①学校等の机・椅子等の導入に対する支援 ・補助先:市町村、学校法人、社会福祉法人、等 ・補助率:1/2以内(机・椅子のセットについては上限18千円/セット) ②地域子育て支援施設の常設木育ひろばへ設置に対する支援 ・補助先:市町村、社会福祉法人、NPO法人等 ・補助率:10/10以内(上限400千円)		
事業計画	2 H31年度事業計画		
	①学校等の机・椅子等の導入 1,200セット ②常設木育ひろば設置 20ヶ所		
事業計画	事業量 (導入木製品数)	計画 1,200個	計画値設定の考え方 要望を鑑み設定
	事業費	26,000千円	要望を鑑み設定

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	県産材流通課
-----	-----------	-----	--------

① 事業名	県民協働による未利用材の搬出促進事業
② 事業目的	森林内の未利用材の木質バイオマス資源としての利用促進を図り、低炭素型社会の構築を目指す。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村、地域住民らが一体となって林地残材を搬出する経費の支援

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画 (t)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
		実績 (t)	3,073	3,962				
		進捗率 (%)	76.8	99.1	0.0	0.0	0.0	0.0
事業費 (千円)		4,585	6,685	6,700			17,970	

後現 の状 予定 今	・各搬出団体の進捗状況の把握及び搬出作業掘り起しについて呼びかけを実施する。
---------------------	--

31年度の事業計画

4,000tの未利用材の搬出を支援する

【仕組み】

《県》
【県民協働による未利用材の搬出促進事業】
県補助金: 市町村補助額の1/2以内

《市町村》
市町村補助金

未利用材買取事業者
・バイオマス事業者
・チップ工場 等

購入代金 3,000円/t

実行団体事務局

現金
地域通貨券の引取り

地域通貨券

5,000~6,000円/t

地域の商店

地域通貨券

商品

お買いもの

森林所有者等

地域通貨券

補助金 3,000円/t
県1,500円
市町村1,500円

補助金 1,500円/t

※金額は一例

- ・森林所有者等が搬出・運搬する未利用材の取引に要する経費を補助。
- ※ただし間接補助事業者自らが搬出・運搬する未利用材の取引は除く(業務としての搬出に対しては補助を認めない)。
- ・補助率 市町村が助成する額の1/2以内の額(上限1,500円/t)。

事業計画	事業量 (未利用材搬出量)	計画 4,000t	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	6,700千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点	・市町村、各種事業関連団体等への事業の情報提供・共有を図るほか、事業に関する相談・要望に積極的に対応し、事業量の確保に努める。
-----	---

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31
-----	-----------

担当課	恵みの森づくり推進課
-----	------------

① 事業名	ぎふ木育拠点整備等事業
② 事業目的	様々な世代(子ども～大人)・立場(指導者・作り手等)にある県民の方々が、だれでも、いつでも希望するときに、『ぎふの木』を核とした『学び』『交流・連携』『創造』『発信』のサービスを楽しみ、木育に関する新たな行動を展開できるよう、常設の木育拠点を整備する。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	「ぎふ木育」の総合的な拠点「(仮称)木のふれあい館」を整備

第2期 事業の進捗


事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(施設)	0	0	1	0	0
	実績(施設)	0	0				
	進捗率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業費(千円)	0	150,000	190,000			340,000

後現
の状
予と
定今

・平成30年度末に建築工事に着手し、平成32年1月頃に竣工、開館準備を経て平成32年4月開館予定。

31年度の事業計画

(仮称)木のふれあい館建築工事等

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○建築工事(150,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・整備概要 <ul style="list-style-type: none"> 構造:木造平屋建て 場所:岐阜市学園町地内(ぎふ清流文化プラザ西側) 建築面積:約1,000m² ・整備スケジュール <ul style="list-style-type: none"> H30～H31年度 建築工事・備品整備 H32年度 供用開始 ○備品整備(10,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・(株)十六銀行からの寄付金10,000千円(平成29年度に基金へ積立)により木製遊具等を整備 ○運営体制整備(30,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・運営業務及びボランティアマニュアル作成、運営職員研修 ・ショップ新商品開発 ・木育プログラムの開発 ・「ぎふ木育」普及啓発書籍等の制作、パンフレット等広報 	
	(仮称)木のふれあい館 木育広場イメージ	

事業計画	事業量(整備施設数)	計 画	計画値設定の考え方
		—	H30～H31に建築
	事業費	190,000千円	建物建築費の一部

改善点	・引き続き整備を推進する。
-----	---------------

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	恵みの森づくり推進課
-----	-----------	-----	------------

① 事業名	ぎふの木育教材導入支援事業
② 事業目的	将来の森林づくりを担う子どもたちが直接木を見て触れることのできる木製学習教材や木のおもちゃの導入に対して支援することにより、人や自然に対する思いやりとやさしさを考えられる豊かな心を育む「木育」の取り組みを進め、木材利用や環境保全に対する理解につなげる。
③ 事業主体	市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、子育て関連のNPO法人等
④ 事業概要	ぎふの木を使ったおもちゃやキット等の教材の導入への補助

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(施設)	60	60	60	60	60
	実績(施設)	52	60				112
	進捗率(%)	86.7	100.0	0.0	0.0	0.0	37.3
	事業費(千円)	2,720	4,000	4,000			10,720

後現
の状
予と
定今

- ・事業周知を行い、導入施設を増やす。

31年度の事業計画

60施設にぎふの木を使ったおもちゃやキット等の教材を導入

事業内容



(学習用教材 チョロチュウキット)



(作成したチョロチュウで遊ぶ子どもたち)

○補助率
購入費の1/2以内

※ぎふ木育教室を実施する場合は、購入費用が20千円以下の部分は10分の10以内の額、20千円を超える部分は2分の1以内の額
※常設版木育ひろばの計画承認を受け、当該事業により木製おもちゃ等を導入する場合は10/10以内
(補助金の上限額100千円/施設)

※ぎふ木育ひろば地域支援拠点の計画承認を受けた施設については、購入費用の10/10以内
(補助金の上限額200千円/施設)

事業計画

事業量 (導入施設数)	計画	計画値設定の考え方
	60施設	第2期の目標達成に向けて設定
事業費	4,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	恵みの森づくり推進課
-----	-----------	-----	------------

① 事業名	森と木と水の環境教育推進事業
② 事業目的	・子どもたちを対象に、ぎふの豊かな自然(森・川・里山など)の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進する。
③ 事業主体	県、市町村、学校法人、国立大学法人
④ 事業概要	子どもたちを対象とした、森や木や川に関する環境教育

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(人)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績(人)	1,069	1,904				2,973
	進捗率(%)	106.9	190.4	0.0	0.0	0.0	59.5
	事業費(千円)	11,645	13,100	14,900			39,645

後現
の状
予と
定今

- ・新規37校・園の事業実施により、目標人数を大きく上回る見込みである。
- ・引き続き、新規実施校を増加させるため、制度説明会など情報発信や普及・相談に努める。
- ・「ぎふ木育」の県民への浸透を図るため、県民がぎふ木育に触れる機会の創出に努める。

31年度の事業計画

ぎふ木育教室、緑と水の子ども会議等を通じて「ぎふ木育」の普及啓発を図る。

事業内容	 <p>ぎふ木育教室</p> <p>森や木にふれあい・親しむ、森と木のつながりに気づく活動の支援・ぎふ木育推進員の派遣、ぎふ木育教室の指導者養成を実施する。</p>	 <p>緑と水の子ども会議</p> <p>総合的な学習の時間等における地域の自然に関わる体験活動を通し「学習の支援」、「地域の講師の派遣」、「体験活動資料の提供」を実施する。</p>	 <p>ぎふ木育大交流会</p> <p>ぎふ木育や(仮称)森林総合教育センターの取り組みを全国に発信するため、森のようちえん全国交流フォーラムに併せてぎふ木育交流会を開催する。</p>
------	---	---	---

事業計画	事業量(参加人数)	計画 1,000人	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	14,900千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

- ・ぎふ木育の更なる普及啓発を図るため、平成31年11月に岐阜県で開催される森のようちえん全国交流フォーラムに併せてぎふ木育大交流会を開催する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日 H30.10.31

担当課 恵みの森づくり推進課・環境企画課

① 事業名	清流の国ぎふ地域活動支援事業
② 事業目的	・県内の法人、団体が主体となって自ら企画・立案・実行する創意工夫のある森づくりや川づくり及び水環境等の保全活動を支援する。
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	県内の団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくり・川づくりへの支援

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計画(件)	40	40	40	40	40	40	200
		実績(件)	56	60					
		進捗率(%)	140.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業費(千円)		21,798	23,000	23,000				67,798	

後現の状と予定今
 ・平成31年度事業については現在募集中(応募締切は12/7)。
 ・今後も、事業の活用拡大に向けたPRを実施していくとともに、事業実施にあたっての質問対応等の様々なサポートを行う。

31年度の事業計画

・活用事業を募集し、採択された事業を実施する団体に対し支援をする

事業内容			団体等から提案のあった森づくり・川づくり活動に対し経費を補助 補助率: 補助対象経費が500千円以下…10/10以内 補助対象経費が500千円を超える部分…1/2以内 補助上限額: 1,250千円 補助下限額: 100千円
森林整備(下刈り)の状況(NPO法人竹林救援隊) 河川敷の整備の状況(木曾川左岸遊歩道友の会)			

事業計画	事業量(活動支援件数)	計画 40件	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	23,000千円	前年度並みに設定

改善点
 ・新規団体へ事業周知を図ることなどを目的に、県内3箇所において、事業説明会を実施(11/5、11/7、11/9)した。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日 H30.10.31

担当課 恵みの森づくり推進課・県産材流通課・環境企画課

① 事業名	清流の国ぎふ市町村提案事業
② 事業目的	・清流の国ぎふ森林・環境税の考え方で4つの施策に掲げる、①100年先の森林づくりの推進、②自然生態系の保全と再生、③ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり、④人づくり・仕組みづくり、を効果的に進めるため、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村が特に必要と考える事業に対し支援を行う。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村からの提案事業に対する補助

第2期 事業の進捗

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		事業進捗	事業量				
計画(件)	50		50	50	50	50	250
実績(件)	44		45				89
	進捗率(%)	88.0	90.0	0.0	0.0	0.0	35.6
	事業費(千円)	101,229	120,000	120,000			341,229

後現の状と定今
・今後も、事業の活用拡大に向け市町村への情報提供や相談対応を進めていく。

31年度の事業計画

・市町村からの提案事業を募集し、採択された事業の実施に対し支援をする

事業内容	 <p>揖斐川上流に実のなる木を植えよう大作戦事業 (揖斐川町上流において、地域住民ボランティアによる植栽活動を実施)</p>	 <p>可児市子育て健康プラザ県産材木製家具導入事業 (ローテーブル、三人掛け・一人掛けチェアに県産ナラ無垢材を使用)</p>	 <p>環境モデル都市子ども向け啓発促進事業 (御嵩町環境フェアにおける環境教育紙芝居の発表)</p>	<p>市町村からの提案事業に対し経費を補助 補助率:10/10または1/2 (県産材活用に係るもの) 補助上限額:5,000千円 補助下限額:500千円</p>
------	--	---	--	--

事業計画	事業量(支援件数)	計画	計画値設定の考え方
		50件	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	120,000千円	前年度並みに設定

改善点
・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	環境企画課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	野生動物総合対策普及推進事業
② 事業目的	鳥獣被害対策について科学的に研究し、当該研究成果を県、市町村や住民へ広めていくとともに、鳥獣被害対策に取り組む人材を育成することを目的とする。
③ 事業主体	岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」
④ 事業概要	岐阜県の野生動物管理に関する調査研究、政策提案及び人材育成

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(人)	500	500	500	500	500
	実績(人)	1,458	550				2,008
	進捗率(%)	291.6	110.0	0.0	0.0	0.0	80.3
	事業費(千円)	20,711	21,000	21,000			62,711

後現
の状
予と
定今

- ・連続講座(全8回)を11月～1月にかけて残りの4回を開催する。

31年度の事業計画

鳥獣被害対策について研究し、当該研究成果を県、市町村や住民へ広めていくとともに、鳥獣被害対策に取り組む人材を育成する。

事業内容



鳥獣対策を一層推進するため、鳥獣対策に関する正しい知識や情報を地域へ普及し、地域住民が主体となって実践できる体制を作るために、鳥獣毎の講座などを実施。

事業計画

	事業量 (参加者数)	計 画 500人	計画値設定の考え方 行政、県民に対する講習会(260)、シンポジウム(200)、教員免許試験講習会(40)
	事業費	21,000千円	基金事業全体の枠内で対応

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	環境企画課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	上流域と下流域の交流事業
② 事業目的	上下流域の自然体験や環境保全活動を通じて子どもたちの森里川海のつながりの理解を深め、環境保全意識を育む
③ 事業主体	県
④ 事業概要	森里川海のつながりを踏まえた自然環境、環境保全の理解を深めるツアーを催行する。

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(回)	15	15	15	15	15	75
		実績(回)	16	16				32
		進捗率(%)	106.7	106.7	0.0	0.0	0.0	42.7
事業費(千円)		7,042	7,998	8,000			23,040	

後現の状
予と定今

- ・夏の悪天候のため不催行となったツアーもあり、秋、冬で2コースを増設し対応した。
- ・参加者に対し、ツアー参加を機とした環境保全意識の変化についての追跡調査を行う。
- ・参加者からは流域での自然体験を親子で共有できたなど好評であることから、引き続きツアーを実施し、環境保全意識を育む。

31年度の事業計画

森里川海のつながりを踏まえた環境保全への理解を深めるツアーの実施
NPO等関係団体による連携会議の開催

事業内容			事業効果を把握するため、参加者に対してアンケートを実施し、森里川海のつながりの理解やツアー参加前後における自然環境保全意識の変化を把握
	水生生物調査(可児市)	川の生き物観察(郡上市・明宝地区)	

事業計画	事業量(実施回数)	計画	計画値設定の考え方
		15回	県環境基本計画の目標値(H32年末156回)の達成に向けて設定
	事業費	8,000千円	基金事業全体の枠内で対応

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	環境企画課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業
② 事業目的	県民、企業、市町村、民間団体等多様な主体が、それぞれの地域にとって「好ましい自然」とは何かを考え、生物多様性保全・再生に向けた行動につなげていく社会づくりを目指す。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	生物多様性に対する理解の促進

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画 (回・箇所)	6	6	6	6	6
	実績 (回・箇所)	22	15				37
	進捗率 (%)	366.7	250.0	0.0	0.0	0.0	123.3
	事業費 (千円)	976	2,000	2,000			4,976

後現
の状
予と
定今

・平成30年度は、生物多様性に配慮した地域づくりシンポジウムを11月に開催し、イタセンパラの展示を活用した普及活動も引き続き実施する。

31年度の事業計画

希少野生動物や外来生物をテーマとしたシンポジウムの開催や展示を実施

地域にとって「好ましい自然」とは何かを考えるため、生物多様性保全・再生に向けた行動につなげていくための希少野生動物や外来生物をテーマとしたシンポジウムの開催や展示を実施

事業内容



シンポジウム 講演



シンポジウム 活動報告



専門家派遣による講演会

事業計画	事業量 (実施回数)	計 画 6回	計画値設定の考え方 生物多様性に配慮した地域づくりシンポジウム及びイタセンパラの展示を用いた普及活動の実施
	事業費	2,000千円	シンポジウム等の講師に係る報償費等や展示に供するイタセンパラの飼育に係る費用

改善点

・シンポジウムは時機をとらえた内容を検討し専門家講師の派遣等を行うとともに、展示を活用した地域に密着したイタセンパラの普及啓発活動も引き続き実施していく。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農村振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	野生鳥獣保護管理推進事業 ニホンジカ、イノシシ等の捕獲推進
② 事業目的	個体数調整を目的としてニホンジカの捕獲等を推進し、農林業や生活環境等への被害軽減を図る。
③ 事業主体	市町村、地域協議会(わなを中心とした捕獲体制のモデル事業に限る)
④ 事業概要	ニホンジカの個体数調整を目的とした捕獲等に係る助成

第2期 事業の進捗

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
進捗	事業量						
	計画(頭)	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	38,500
	実績(頭)	5,459	7,700				13,159
	進捗率(%)	70.9	100.0	0.0	0.0	0.0	34.2
	事業費(千円)	95,713	136,254	140,903			372,870
	森林・環境税	93,164	126,881	130,000			350,045
	他(国庫補助金)	2,549	9,373	10,903			22,825

後現の状況と予定	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲頭数の進捗状況を把握し、捕獲を推進する。 ・平成31年度の実施に向けて、事業主体への情報提供や事業要望のとりまとめを行う。
----------	---

31年度の事業計画

捕獲体制の整備をするとともに、捕獲事業を実施(ニホンジカ7,500頭、イノシシ200頭)する。

事業内容	<p><捕獲体制の整備></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; width: 30%;">わな捕獲を中心とした捕獲体制整備</div> <div>・講習会開催、わな捕獲の実施、狩猟免許取得など地域ぐるみの体制整備を支援。 補助率10/10以上 上限1,000千円/地区</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; width: 30%;">わな捕獲技術向上研修会</div> <div>・わなによる捕獲技術の向上にかかる研修を開催(委託)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; width: 30%;">鳥獣捕獲等事業者育成事業</div> <div>・鳥獣捕獲等事業者の認定を受けるために必要な技能及び知識を有する捕獲従事者の育成 補助率10/10以内 上限300千円/事業</div> </div> <p><捕獲></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; width: 30%;">個体数調整捕獲</div> <div>・ニホンジカの数調整を目的に実施。 補助率10/10以内 捕獲報償費 15千円/頭、捕獲に必要な物品購入費 200千円以内</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; width: 30%;">指定管理鳥獣捕獲等事業</div> <div>・広域的な個体群管理を目的としてニホンジカ及びイノシシの捕獲及び捕獲実施計画の策定に必要となる調査を実施(委託)</div> </div>
------	---

事業計画	事業量(捕獲数)	計画(A) (ニホンジカ)7,500頭 (イノシシ) 200頭	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	140,903千円 (うち森林・環境税 130,000千円)	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点	・指定管理鳥獣捕獲等事業は、市町村主体の被害防止捕獲等では捕獲が困難な地域で実施するなど区域を見直し、効果的な捕獲実施を目指す。
-----	--

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農村振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	野生鳥獣保護管理推進事業 カワウ等対策
② 事業目的	カワウ等による農林水産業や生活環境への被害軽減及び生態系の保全を図ることを目的に、カワウ又はカワアイサの被害対策活動に対する支援を実施する。
③ 事業主体	市町村、県漁連、漁業協同組合、特定非営利活動法人、地域協議会
④ 事業概要	カワウ又はカワアイサの捕獲、追い払いなど被害対策活動を支援する。

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第1期 計
		計画(羽)	600	600	600	600	600
	実績(羽)	895	800				1,695
	進捗率(%)	149.2	133.3	0.0	0.0	0.0	56.5
	事業費(千円)	13,706	20,550	22,000			56,256

今後の予定
県内のカワウ生息羽数は、2,333羽(H28)から1,544羽(H29)[農村振興課調べ]と減少しており、本事業による捕獲がカワウ生息羽数減少に貢献している。また、捕獲と併せて行う追い払い活動等(可茂地域にて実施)が効果的であり、漁協関係者からも被害が軽減したとの声があることから、今後も捕獲と追い払い活動を中心とした効果的な被害防止対策を進めていく。

31年度の事業計画

漁協や地域協議会の被害対策活動を支援し、カワウ等の年間捕獲数を600羽以上とする。

事業内容	 <p>ドローン等による追い払いの様子</p>  <p>河川への飛来防止テグス張り</p>  <p>捕獲作業の様子</p>	<p>漁協や地域協議会が実施するカワウ又はカワアイサの被害対策活動に対して補助金を交付。</p> <p>(1)補助率 10/10以内で予算の範囲内の額 (2)補助限度額 1,000千円/団体(ただし、事業実施主体が漁業協同組合であって捕獲や追い払い活動を実施する場所が複数市町村に及ぶ場合は、補助限度額を1,500千円/団体以内の額)</p>
------	---	---

事業計画	事業量(捕獲数)	計画(A)	計画値設定の考え方
		600羽	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	22,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点
十分な被害防止対策が行われていない漁業協同組合に対し、捕獲や追い払い活動等による総合的な対策を推進する。また、被害防止には漁協間の連携した取り組みが効果的であることから、複数の漁協による広域的な被害防止対策を今よりも地域を広げて実施できるよう推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農村振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	野生鳥獣保護管理推進事業(捕獲の担い手の確保)
② 事業目的	農林業や生活環境被害の拡大に伴う有害鳥獣捕獲に対応できる市町村職員を育成する。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村職員が有害捕獲に重視するための銃所持などにかかる助成

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第1期 計
	事業量	計画(人)	6	6	6	6	6	30
		実績(人)	4	7				11
		進捗率(%)	66.7	116.7	0.0	0.0	0.0	36.7
事業費(千円)		1,575	3,000	3,000	0	0	7,575	

後現 の状 予と 定今	・平成31年度の実施に向けて市町村に働きかけ、新たに従事する職員の育成を推進する。
----------------------	---

31年度の事業計画

有害鳥獣捕獲等に従事する市町村職員を6名育成する。

事業内容	 <p>有害鳥獣捕獲に従事する市町村職員</p>	 <p>事業により導入された猟銃</p>	<p>市町村職員の狩猟免許(第一種銃猟)、銃所持許可、猟銃及び保管庫の取得のために必要な経費を助成。</p> <p>補助率 10/10 (上限 500千円/人)</p>
------	---	--	--

事業計画	事業量 (育成人数)	計 画	計画値設定の考え方
		6人	第2期の目標設定に向けて設定
	事業費	3,000千円	事業費の中でできる限り要望に対応する

改善点	・5年間の計画値を達成するため、大型獣対策を要する市町村を中心に取組みを働きかけていく。
-----	--

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農地整備課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	生きものにぎわうため池再生事業
② 事業目的	ため池に生息する外来種を駆除することにより、里地の生態系の保全を図るモデル的な取り組み等を推進する
③ 事業主体	県
④ 事業概要	ため池に生息する外来種の駆除

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計画 (箇所)		3	3	3	3	3	15
		実績 (箇所)		4	3				7
		進捗率 (%)		133.3	100.0	0.0	0.0	0.0	46.7
事業費 (千円)			2,032	2,500	2,500	2,500	2,500	12,032	

後現
の状
予と
定今

・年内に4箇所で活動を実施する予定。

31年度の事業計画

3～4か所程度の農業用ため池を対象に外来種駆除活動を実施

事業内容

- ・生きもの調査
- ・外来種の捕獲・駆除作業
- ・外来種の放流対策防止

池の落水による外来種の下流への拡散を防ぐための対策(注意看板の設置等)、生息する生物の調査や捕獲及び外来種駆除、捕獲した在来種を池に戻すまでの保護等に係る人件費、資材等について支援する。生きものの捕獲や外来種の駆除等は、水環境における生態系保全の取り組みについて意識向上を図ること、この取り組みを広げることがを目的に、ため池管理者や地域住民も参加することを原則として、行政が補助を行う。

事業計画	事業量 (実施箇所数)	計画	計画値設定の考え方
		3箇所	落水を伴う工事(年間約3～4箇所)とあわせて行う予定をしており、計画値を3箇所と設定
	事業費	2,500千円	ため池の水抜きにかかる準備、捕獲した生物の判別や集計などの経費として1か所辺り約800千円の経費となる

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農村振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	水田魚道設置推進事業
② 事業目的	水田魚道の設置を促進することで、生態系保全とともに地域の環境意識の高揚、環境保全型農業の発展につなげる。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	①水田魚道の設置促進(研修会の開催) ②水田魚道の効果検証

第2期 事業の進捗



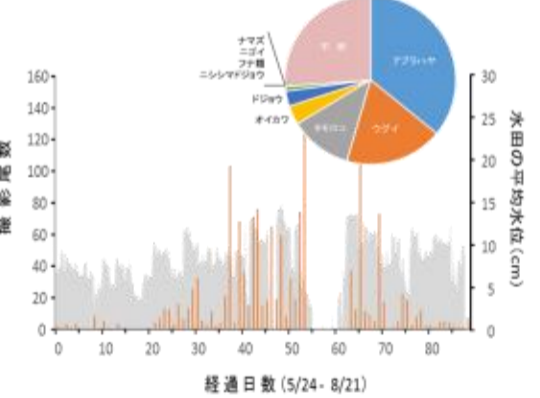
事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計画(地区)		1	1	1	1	1	5
		実績(地区)		1	1				2
		進捗率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	40.0
事業費(千円)			2,637	3,000	3,000			8,637	

後現の状
予と定
今

- ・11月22日に関市千足地区において、水田魚道設置研修会を開催予定。
- ・水産研究所の研究成果を活用し、岐阜・西濃・揖斐地域で3地区の取組候補地区を選定する予定。

31年度の事業計画

水みちの連続性確保に向け水田魚道の設置研修会を実施するとともに、水田魚道の効果検証をおこなう。

事業内容	<p style="text-align: center;">研修会の開催や 水田魚道の設置</p> 	<p>検証</p> <p>↓</p> <p>改善</p>	<p style="text-align: center;">自動計数装置 の開発</p> 	<p>観測</p> <p>↓</p> <p>改善</p>	<p style="text-align: center;">遡上状況 の観測</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ○設置研修会の実施および水田魚道の設置促進 ○自動計数装置の開発および遡上状況の観測 ○事業効果の高い設置地区の選定、魚道管理手法の効率化 				

事業計画	事業量 (設置箇所数)	計 画	計画値設定の考え方
		1地区	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	3,000千円	基金事業の枠内で、効果発現に向けた取り組みを継続的に実施

改善点

- ・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農村振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	生態系保全団体支援事業
② 事業目的	・団体がおこなう里地里川の生態系を復活又は保全するモデル的な取り組みを支援することで、県内の里地里川における生態系保全につなげる。
③ 事業主体	特定非営利活動法人、地域団体等
④ 事業概要	生態系に配慮した農業用水路の整備、水田や用排水路等を活用した環境教育の実施など、里地里川の生態系を復活するモデル的取り組みへの支援

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(団体)	5	5	5	5	5
実績(団体)	7	7				14	
進捗率(%)		140.0	140.0	0.0	0.0	0.0	56.0
事業費(千円)		10,375	10,500	10,500			31,375

後現の状と定今
・今後も事業費の適正な執行に向け団体への指導を実施する。

31年度の事業計画

里地里川の生態系の保全・復活に取り組む団体を支援する。

事業内容



ミニシンポジウムの開催
(養老町)



農業排水路での生きもの調査
(関市)

里地里川の生態系を復活するモデル的取り組みを実施する団体を支援

補助率: 定額
(上限2,000千円)

事業計画

事業量 (実施団体数)	計 画	計画値設定の考え方
	5団体	第2期の目標達成に向けて設定
事業費	10,500千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日 H30.10.31

担当課 農村振興課

① 事業名	生態系保全市町村支援事業
② 事業目的	市町村がおこなう里地里川の生態系保全の取り組みを支援することで、県内の里地里川における生態系保全につなげる。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	水田や用排水路におけるスクミリングガイの駆除など

第2期 事業の進捗

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		事業進捗	事業量	計画(市町村)	6	6	6
実績(市町村)	7		7				14
進捗率(%)	116.7		116.7	0.0	0.0	0.0	46.7
事業費(千円)		5,581	7,000	7,000			19,581

後現の状
予と定今

- ・引き続き計画的な事業を実施する。
- ・効率的な駆除実施のため、各地区での駆除実績を集計・共有する。

31年度の事業計画

水田や用排水路におけるスクミリングガイの駆除など、生態系保全に取り組む市町村を支援する。

事業内容



駆除状況



駆除した成貝

水田や用排水路におけるスクミリングガイの駆除など、農地・農業用施設を対象とする生態系保全に取り組む市町村を支援。

補助率 1/2
(上限 1,000千円)

事業計画

事業量 (実施市町村数)	計画	計画値設定の考え方
	6市町村	第2期の目標達成に向けて設定
事業費	7,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農地整備課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	用排水路・河川落差解消支援事業
② 事業目的	面的な広がりを持った水みちの連続性を確保し、河川や水田に生息する魚類の繁殖、生息区間を再生する。
③ 事業主体	市町村等
④ 事業概要	農業用排水路や普通河川との落差の解消

第2期 事業の進捗


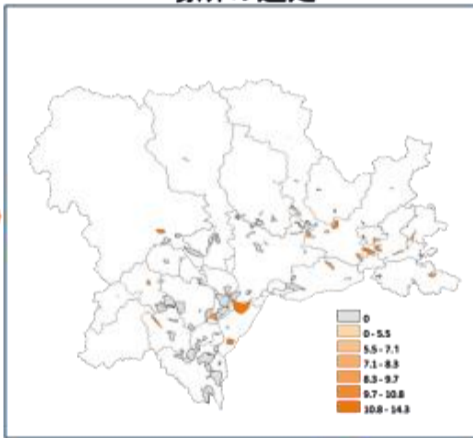

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(箇所)	1	1	1	1	1	1
実績(箇所)	0		1				1	
進捗率(%)	0.0		100.0		0.0	0.0	0.0	20.0
事業費(千円)			2,615	5,000	5,000			12,615

後現
の状
予と
定今

・H30年度は関市で1箇所実施する。
 今後の実施箇所について引き続き事業候補地調査の結果を活用し、事業効果の高い箇所において事業実施できるよう、関係者と取り組む。

31年度の事業計画

水みちの連続性確保や生態系ネットワークの解析技術開発の取組を支援し、農業用排水路内の落差解消を行う

事業内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>魚類層や落差分断 状況の調査</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>費用対効果の高い 場所の選定</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>落差解消事業による 水みちの連続性の再生</p>  </div> </div> <p>○水みちの連続性確保や生態系ネットワークの解析技術開発の取組を支援し、農業用排水路内の落差解消を1箇所以上行う。</p>
------	---

事業計画	事業量 (実施箇所数)	計 画	計画値設定の考え方
		1箇所以上	水みちの連続性確保に資する農業用排水路の落差解消を行う。
	事業費	5,000千円	上記に要する費用及び河川－農地における生態系ネットワーク解析技術開発の支援に要する費用

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	農地整備課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	小水力発電による環境保全推進事業
② 事業目的	地域の身近な水路等に小規模な小水力発電施設を設置(または既存施設を活用)し、環境保全学習を行うとともに、環境保全活動を実施し、再生可能エネルギーの普及・啓発を図る。
③ 事業主体	市町村、NPO、地域団体等
④ 事業概要	①環境教育推進型:簡易な小水力発電施設の設置及び電力利用先に要する経費の補助 ②環境保全提案型:小規模(0.1kW以上)な水力発電施設の設置に要する経費の補助

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(箇所)	3	3	3	3	3	3
	実績(箇所)	1	1					2
	進捗率(%)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0		13.3
	事業費(千円)	1,062	1,165	10,000				12,227

後現
の状
予と
定今

- ・NPO法人等、関係団体等へ説明会を実施する。
- ・実施に向け関係団体と調整を図る。

31年度の事業計画

3施設での環境保全学習実施を目指す

事業内容	 <p>発電施設を利用した環境保全学習</p>	 <p>発電施設を利用した環境保全学習</p>	<p>①環境教育推進型 補助率:定額(上限 1,000千円)【平成31年 度より】</p> <p>②環境保全提案型 補助率:定額 ・0.1kW~1kW 1,000千円+100千円 /0.1kW ・1kW以上 2,000千円/kW(上限 10,000千円)</p>
------	--	---	---

事業計画	事業量 (実施箇所数)	計画 3箇所	計画値設定の考え方 県内5圏域で各3箇所の計15箇所
	事業費	10,000千円	環境教育推進型2施設2,000千円、環境保全提案型1施設 8,000千円の経費

改善点

- ・NPO法人等へのヒアリングをもとに、事業制度の見直し(環境教育推進型の補助率の見直し等)を実施。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	河川課
-----	-----------	-----	-----

① 事業名	流域協働による効率的な河川清掃事業
② 事業目的	流域ごとの河川清掃モデルの確立、県民の河川環境保全意識の向上、清掃活動の環境づくり
③ 事業主体	県
④ 事業概要	上下流域が連携した河川清掃活動の実施

第2期 事業の進捗


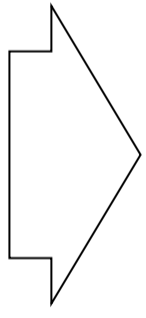

事業進捗	事業量	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		計画(河川)	53	58	63	68	73
	実績(河川)	51	51				
	進捗率(%)	96.2	87.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業費(千円)	29,998	30,000	30,000			89,998

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に努める。

31年度の事業計画

県内の主要な河川において、河川清掃などの取組みが行われるように環境の整備を行う。

事業内容	 整備前		 整備後	NPO法人や、地域住民等民間団体と県が協働し、流域全体を対象とした河川清掃活動に連携して取り組むことにより、効率的な河川清掃モデルの確立と流域住民の河川環境及び水環境の保全に対する意識啓発を図る。
------	--	--	--	--

事業計画	事業量 (河川清掃取組み河川数)	計画 63河川	計画値設定の考え方 第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	30,000千円	基金事業の枠内でできる限り要望に対応

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	河川課
-----	-----------	-----	-----

① 事業名	河川魚道の機能回復事業
② 事業目的	河川の連続性の確保、魚がすみやすい環境の創出
③ 事業主体	県、フィッシュウェイサポーター
④ 事業概要	魚道点検、魚道内の堆積土砂除去や魚道施設の補修

第2期 事業の進捗

事業進捗			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計	
	事業量	計画 (健全割合)	80	80	80	80	80	80	80
		実績 (健全割合)	91	92					
		進捗率(%)	114.0	114.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業費(千円)		49,992	50,000	50,000				149,992	

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に努める。

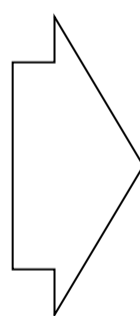
31年度の事業計画

フィッシュウェイサポーターとともに魚道点検を行い、機能不全に陥った魚道の対策を実施する。

事業内容



対策前



対策後

県管理河川及び砂防施設に設置されている魚道について、状態把握と適切な維持管理を行うことにより、河川の連続性確保を図る。

事業計画

事業計画	事業量 (健全魚道割合)	計画	計画値設定の考え方
		80%	第2期の目標達成に向けて設定
	事業費	50,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り要望に対応

改善点

・目標の達成に向けて引き続き事業を推進する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(事業計画)

作成日	H30.10.31	担当課	里川振興課
-----	-----------	-----	-------

① 事業名	河川魚道の機能回復事業
② 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の連続性を確保することで、魚がすみやすい環境を創出する。 ・上流から下流まで一貫していることで、効果的な種苗放流を行うことが可能となり、漁場としての有効活用が図られる。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	魚道の機能回復を図るため、魚道内の堆積土砂除去や魚道施設の補修等を実施

第2期 事業の進捗

事業進捗	事業量		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	第2期 計
		実施設計箇所 (工事実施箇所)	—	4(0)	0(2)	2(2)	0(2)	6(6)
実施設計箇所 (工事実施箇所)	—	4(0)				4(0)		
進捗率(%)	—	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3		
事業費(千円)	—	6,642	20,000			26,642		

後現
の状
予と
定今

・今後も事業費の適正な執行に努める。

31年度の事業計画

フィッシュウェイサポーターとともに魚道点検を行い、機能不全に陥った魚道の対策を実施する。

事業内容

1 事業内容
平成3年～14年度に長良川流域を中心に整備された農政部所管の魚道21箇所のうち、年1回程度の魚道の機能診断(県土整備部所管のフィッシュウェイサポーター事業「清流の国ぎふ・魚道カルテ」による診断)において、要改修の判定を受けた6魚道を対象に、魚道内の堆積土砂除去や魚道施設の補修を実施し、魚道の機能回復を図る。

2 H31年度事業の実績/計画

①改修工事に伴う実施設計	0箇所
②魚道の改修工事	2箇所

(魚道プール内の堆積土砂撤去・破損個所の補修・河床低下による魚道入口の落差解消等)

事業計画	事業量 (実施箇所数)	計 画	計画値設定の考え方
		改修工事2箇所	魚道の機能診断結果により、優先して改修が必要と認められた魚道
	事業費	20,000千円	基金事業全体の枠内でできる限り改修を推進

改善点

・7月豪雨により今年度事業が実施できなかったため、工事計画を変更するとともに、今年度中に地元漁協や施設管理者と協議を終わらせ、来年度以降の工事を着実に実施する。